

学校だより 春 蘭

10月号②
2015.10.27(火)

文責 岩根小校長 佐藤勇人

ならぬことはならぬものです

10月も下旬になり日がだいぶ短くなってきました。日中と朝夕の寒暖の差も大きくなって、秋が深まってきたことを感じさせます。

さて、10月7日・8日の2日間にわたって、6年生の修学旅行を実施しました。ほぼよい天候に恵まれ、6年生は本当に楽しい2日間を過ごすことができたようです。会津若松市のフィールドワークでは、班でプランを立てて自由に市内の各名所等を見学したり、個々の計画でお小遣いを遣ったり食べたり等々今までのない体験が出来たものと思います。(泊まった旅館も素晴らしかったし、温泉にも入れたし、きつとみんなで過ごした貴重な思い出になったことでしょう。)

さて、2日目には会津藩校日新館に立ち寄り、座禅の体験をした



り会津の昔の教育を学んだりしました。

昔、会津藩では町内の区域を「辺」という単位に分け、辺をさらに「什(じゅう)」という藩士のグループに分けました。什では「什長」というリーダーが選ばれました。什長は毎日、什の構成員の家の座敷を借り、什の構成員に「什の掟」を訓示しました。この「什の掟」は日新館に入学する前の子どもたちが身につけるべき「人としての心構え」だったのです。



- 一 年長者の言うことに背いてはなりません
- 二 年長者にはお辞儀をしなければなりません
- 三 虚言を言うことはなりません
- 四 卑怯な振る舞いをしてはなりません
- 五 弱い者をいじめてはなりません
- 六 戸外で物を食べてはなりません
- 七 戸外で婦人と言葉を交えてはなりません

私たちがよりよい社会を実現していくためには正義を愛する気持ちが大切です。しかし、正義を妨げるも



のに、人々の偏見や差別、不正な行為があります。今、改めて私たちはいじめなどの不正な行為を絶対に許さないという態度が強く求められています。

現代はスマホや携帯電話、PCからネットに接続し、情報の収集や発信を行うことが容易になっていきます。ネット上で軽い気持ちで書き込んだ言葉が友達の人権を侵害することもあります。(それは犯罪です。)

また、何かと「理由」が重視される傾向がありますが、「ならぬこと」はならぬものです」という強い信念と毅然とした態度が、今、私たちに必要なのです。

そして、児童一人一人が互いの個性を認め合い、思いやりの心を持って小学校生活を送ってほしいと思っています。



学校・地域・家庭が協力し合いながら、子どもたちが自分と他者を大切に尊重し、社会のルールを守り行動する態度を育てていきましょう。

入賞おめでとう①

第83回全国書展

筆都大賞

3年

J A 共済福島県小・中学生交通安全全ポスターコンクール

県警本部長賞
4年

文集「あだち」(第51集)

〈作文の部〉

特選 2年
入選 1年

〈読書感想文の部〉

同 1年
同 2年

〈詩の部〉

特選 1年
同 2年

第20回智恵子のふるさと小学生紙絵コンクール

佳作 1年
同 6年

南達交通安全対策連絡協議会主催交通安全作文コンクール

最優秀賞 2年
佳作 4年

本宮市読書感想文・読書感想画コンクール

〈読書感想文の部〉
最優秀賞 6年
優秀賞 2年

同 3年
〈読書感想画の部〉

優秀賞 5年
佳作 6年